

伊那市杉島地区森林整備推進協定の締結について

～民有林と国有林の連携強化に向けて～

1. 趣旨

水資源のかん養や災害の防止など、安全な地域形成と豊かな暮らしの実現に向け、森林の有する多様な機能の高度発揮を図るため、民有林と国有林の関係者が協定を締結し、「森林共同整備団地」を設定して、連携を図りながら適切な森林の整備・管理を行うものです。

2. 協定内容

- (1) 協定締結式：平成 24 年 3 月 26 日（月）
- (2) 協定締結者：中部森林管理局南信森林管理署長、長野県上伊那地方事務所長、伊那市長、独立行政法人森林総合研究所森林農地整備センター
長野水源林整備事務所長、上伊那森林組合長 以上 5 者
- (3) 協定対象面積：3,708ha（国有林 1,007ha、民有林 2,701ha（うち分収造契約地 669ha））
- (4) 伊那市杉島地区森林整備推進協議会の設立



3. 協定締結による効果と期待

分収造林契約地を含めた民有林・国有林の関係者の定期的・継続的な協議の場が設けられ、連絡調整の円滑化が図れ、統一的な方針のもとで、民有林・国有林一体的な森林の管理・保全が可能となります。また、計画的に森林整備や路網整備を実施することにより、施業の効率化や低コスト化が図られます。

さらに、協定者相互の得意分野を踏まえた共同技術研修や情報収集・共有が期待されます。